

愛知の誇る農林水産物 ウナギ



主要産地：西尾市、豊橋市、高浜市

あいちのおいしいウナギ
ふっくら香ばしい贅沢な旨み

(生産量：全国2位)



2026年7月15日(水)
愛知県農業水産局水産課
資源・栽培グループ
担当 岩田、吉見
内線 3791、3790
ダイヤルイン 052-954-6461

2026年度の知事名刺(8月・9月)

うし 夏だ！土用の丑の日だ！愛知県産「うなぎ」をPR！ ～知事がうなぎ料理を試食します～

愛知県では、知事の名刺を使った農林水産物や特産物のPRを行っており、8月、9月は「うなぎ」を取り上げます(2026年4月7日発表済み。)

今年の土用の丑の日は、7月26日(日)です。愛知県はうなぎ養殖生産量全国2位であり、柔らかくて美味しいうなぎが出荷の最盛期を迎えています。また、生産者は資源保護に取り組みながら、しらすうなぎ(うなぎの稚魚)を大切に育て、伝統的な食文化の継承に貢献できるよう努力しています。

この度、土用の丑の日を前に、愛知県産うなぎのPRのため、生産者団体の代表及び関係市長が知事を訪問し、愛知県産うなぎの魅力を紹介しますので、お知らせします。

1 日時及び場所

○日時 2026年7月24日(金) 午前11時40分から正午まで

○場所 愛知県公館

2 訪問者(敬称略)

○愛知県養鰻漁業者協会

会長 田中 三千雄 (一色うなぎ漁業協同組合長)

副会長 花井 章浩 (豊橋養鰻漁業協同組合長)

○豊橋市 市長 長坂 尚登

○西尾市 市長 中村 健

3 内容

- (1) 訪問者挨拶
- (2) うなぎ料理(うな重等)の試食
- (3) 歓談
- (4) 記念撮影



うな重

1 土用の丑とうなぎ

うなぎは栄養価が高く、疲労回復に効くビタミンA、B1、EやEPA（エイコサペンタエン酸）、DHA（ドコサヘキサエン酸）などが豊富に含まれている。

夏の土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という言い伝えからヒントを得た平賀源内^{ひらがげんない}の発案により、江戸時代から広まったといわれている。今年の夏の「土用の丑」は、7月26日（日）である。

2 愛知県の養鰻業の現状

2025年の本県の養殖うなぎ生産量は、4,279トン（過去3年平均比105%）である。本県生産量は全国第2位となっており、全国シェアは24%である。本県では、西尾市、豊橋市などで、112経営体が国の許可を受け、うなぎ養殖業を営んでいる。

2026年漁期における、5月末時点の池入れ^{※1}は、割当量^{※2}の80%にあたる4.0トンとなっている。

※1 池入れ：しらすうなぎを養殖池に入れること

※2 割当量：国により決められた、池入れすることができるしらすうなぎの総重量の上限

<2025年 養殖うなぎの生産上位県>

	県	生産量	全国シェア
1位	鹿児島県	7,342トン	42%
2位	愛知県	4,279トン	24%
3位	宮崎県	3,128トン	18%
4位	静岡県	1,827トン	10%
	全 国	17,557トン	—

（出典：農林水産統計 第一報）

<養鰻業の経営体、生産量、産出額の推移>

年		2021	2022	2023	2024	2025
愛知県経営体数		125	120	118	117	112
生産量	全国（トン）	20,673	19,167	18,341	16,674	17,557
	愛知（トン）	5,288	4,205	3,810	4,255	4,279
	全国比（%）	26	22	21	26	24
愛知県産出額（億円）		194.0	195.9	180.9	201.9	—
単価（円/kg）		3,669	4,659	4,747	4,744	—

（出典：生産量は農林水産統計、その他は水産課調べ）

3 県の養鰻振興策（県水産試験場の取組）

県水産試験場は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構^{※3}（以下、水研）等と協力し、しらすうなぎを人工的に生産する技術の開発に取り組んできた。1991年には、人工的に雌にした親から採った卵のふ化に、世界で初めて成功している。近年は、雌うなぎの育成技術の開発や、人工種苗の生産に必要な餌の開発等に取り組んでいる。

2021年度には、一色うなぎ漁業協同組合（西尾市）等と共同で、ほとんどが身の固い雄に育つ養殖うなぎを、大きくても身の柔らかい雌に育てる技術の開発に成功した。この技術で生産したうなぎをブランド化するため、「あいちの、おおきな、おいしいうなぎ」の頭文字を取って「^{あおい}葵うなぎ」と命名した。

また、2021年度、県水産試験場は従来の液状飼料よりも保存性と作業性が優れた乾燥粉末飼料を開発した。2024年度からは、研究のスピードアップや試験規模の拡大を図るため、研究拠点を漁業生産研究所（南知多町）に移し、より優れた乾燥飼料への改良試験に取り組んでいる。

※3 国立研究開発法人 水産研究・教育機構：

神奈川県横浜市に本部がある水産分野における国の研究・教育機関

4 愛知県養鰻漁業者協会

（1）組織

- ・設 立：1972年9月
- ・会員数：104名（2026年4月）
 - 一色支部（主に一色うなぎ漁業協同組合）：88名
 - 東三河支部（主に豊橋養鰻漁業協同組合）：14名
 - 海部支部：2名
- ・会 長：田中 三千雄（一色うなぎ漁業協同組合組合長）
- ・事務局：愛知県漁業協同組合連合会
- ・所在地：名古屋市中区丸の内三丁目4番地31号
- ・電 話：052-971-3501（ダイヤルイン）

（2）事業内容

愛知県産うなぎの消費拡大のための啓発普及、資源増大のための親うなぎ放流、しらすうなぎの安定確保並びに流通の適正化を図るための調査、養鰻技術向上のための支援などを行っている。